

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

# ガバナー月信



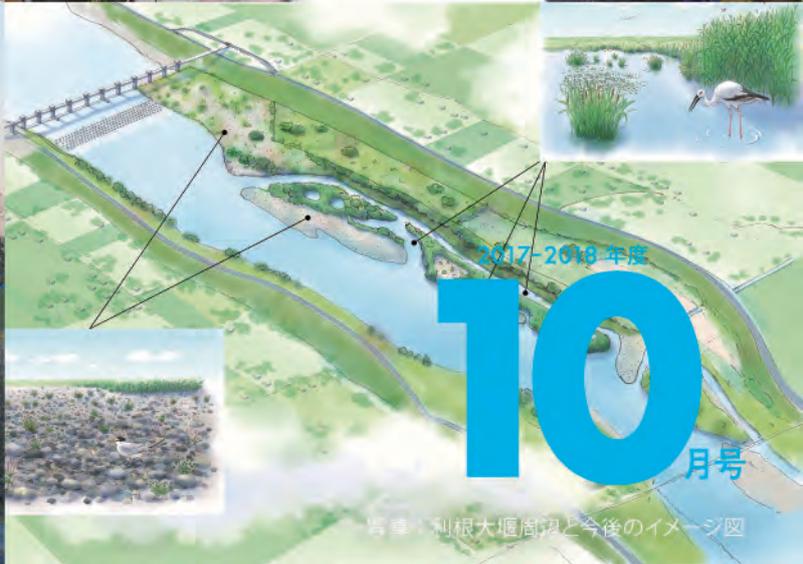
ロータリー：  
変化をもたらす



| 国際ロータリー 第2570地区 (埼玉西北部) | **vol.4**

Rotary International District 2570

October 2017



## contents

- 細井ガバナーメッセージ ..... p2
- コーディネーター NEWS / ポリオデーについて..... p3
- RLI の必要性 ..... p4
- ロータリーを語ろう ..... p5
- 職業奉仕部門・国際奉仕部門 セミナー報告..... p6
- R 財団部門セミナー報告 / 青少年交換委員会オリエンテーション報告 p7
- 社会奉仕部門セミナー報告 / 「まちづくり」シンポジウム.. p8
- ガバナー公式訪問 ..... p9

# Rotary



# 「経済と地域社会の 発展月間」に因んで



© Rotary International/Monika Lozinska



国際ロータリー第 2570 地区  
2017-2018年度 ガバナー  
細井 保雄

酷暑の夏も終わりを告げ、秋の気配を感じる季節となりました。会長、幹事の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。9月13日現在、ガバナー公式訪問は 35 クラブ様を訪問させて頂きました。それぞれのクラブで温かく迎えて頂き、皆様の友情に感謝いたします。ご訪問致しましたクラブ様では、会長の力強いリーダーシップのもと、クラブの目標に向かって一丸となって邁進されております。各クラブ様、特徴と個性を活かしております。

さて、10月はロータリーの「経済と地域社会の発展月間」です。失業、不完全雇用、ビジネスの機会・社会保証の欠如は、貧困を引き起こす深刻な問題です。人々が健康で安全な生活を送るための手段の一つなのが「働くこと」であり、貧困を減らすには雇用機会の創出と収入源の確保が必要となります。特に、女性、若者、貧困層のエンパワメント（社会における地位向上）は、持続可能な経済的・社会的発展のカギとなる要素です。

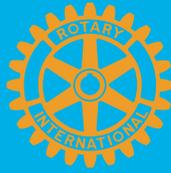
世界銀行によると、1日に1ドル25セント未満で生活する貧困者数は、1990年には192万人でしたが、2011年には100万人にまで減少しています。しかし、2013年の失業人口は2億200万人であり、そのうち

7450万人は15歳～24歳の若者でした。都市部以外に住む貧困者の70%の収入源と仕事は農業であります。雇用における男女格差は根強く、2012年の就業率における男女差は24.8ポイントです。

私たちは地域社会のニーズを調べ、何を地元で調達できるか（リソース）を確認することが大切です。グローバル補助金を利用して大学院レベルの奨学金を提供できます。スキルの養成は、研修、指導、OJT（オン・ザ・ジョブ・トレーニング）などで行われます。エクアドルでは、スキル養成とマイクロクレジット（小口融資）プロジェクトを実施。貧しい女性たちに小額の融資と職業研修を提供した活動が成功しております。カンボジアでは、プノンペン・ロータリークラブがロータリー第9800地区（オーストラリア）と協力し、グローバル補助金を活用し、「ADOPT-A-VILLAGE」（村の自立支援）プロジェクトを実施しており、持続可能な村全体の自立を促しています。

さて、10月は「米山月間」となっております。ロータリー米山記念奨学会は、将来母国と日本の懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を支援することを目的としている奨学事業です。米山奨学生や地区委員の皆様の卓話をお聞きしたりして、この事業の意義をご一緒に認識しましょう。

10月24日は世界ポリオデーです。1988年には125ヶ国の常在国があり、推定で35万人のポリオ患者が発生しておりましたが、99%以上減少し、2016年には常在国3ヶ国の37人になりました。1985年、国際ロータリーが全ての小児をポリオから守るために基金を設立することを公約し発展させたものです。私たちは子供たちの口に2滴のポリオワクチンを投与して、ポリオ撲滅を実現したいと思います。



「コーディネーターニュース」が今年度も発刊されることに関係者の皆様に心よりの敬意と感謝を申し上げます。元よりロータリー活動は会員の皆様の熱意に因るところが基本であります。このコーディネーターニュースを通じて国際ロータリーの現状の最新ニュースが届けられることと思います。

私はこの7月より国際ロータリー理事を拝命しましたが、何分浅学非才でありますので、皆様方のご指導をお願いする次第です。国際ロータリー理事として、斎藤理事と共に、日本のロータリーが世界から乖離しないように努めるのが責務と考えております。ロータリーコーディネーター並びにコーディネーター補佐の皆様は、会員の皆様と国際ロータリーとの最前線の接点であると思います。このコーディネーターニュースをご活用されますことを祈念致します。

今、世界は全ての分野で「変革」がキーワードです。ロータリーも同様です。変わることを楽しむのが成熟というのではないかと考えるようにしております。

国際ロータリー理事 石黒

## 公共イメージと認知度の向上=世間の方々に良いイメージで認められる

### ロータリアンの行動規範

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

1. 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
2. 取引のすべてにおいて公正に務め、相手とその職務に対して敬意の念をもって接する。
3. 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活を高める。
4. ロータリーではかのロータリアンの評判を落とすような行動は避ける。



公共イメージと認知度の向上とは「世間の方々にロータリーを良い印象で知って頂く」事です。そして、世間の方々はロータリー(又はロータリアン)がどんな旨い事を言っても、云っている事よりもロータリアンの行動を見て判断します。

つまり、ロータリアンの日頃の行動が一番大切です。これは大変だ!常に見張られているのだろうか?そんな心配は無用です。第一、四六時中人の目を気にしなければならないなんて、そんな緊張は持続できません。普通に行動すればよいのです。

但し、次の事を忘れないでください。

「奉仕・親睦・多様性・高潔性・指導力」つまり中核的価値観と云われている5項目。「中核的価値観」とは難しい言葉ですネ。我々の「行動規範」と受け留めましょう。行動規範を念頭に置いて活き活きと輝いた行動をとりましょう。

又、日頃からロータリー活動だけに偏らないで、地域や広域の業界活動に参加しましょう。又、地域自治会や消防団、交通安全協会活動にも参加しましょう。これらの活動に参加すること自体が(地域社会)奉仕活動です。地域の奉仕活動には加わらないで、「私は日頃から奉仕活動を行っている。」と言っても、通用しないでしょう。

地域の経済活動、すなわち地元商工会や商工会議所活動、法人会や労働基準協会等にも、お誘いが有れば加わりましょう。お誘いが無いのにこちらから売り込むのはおかしいですが、お誘いが有ったら協力しましょう。

ロータリー活動に一所懸命になって居て、「私はロータリーが忙しいので、他の会の活動は出来ません。」等と云う事は間違っても言わない様にしましょう。

その様に心掛ければ、世間の方々のロータリー(ロータリアン)に対する評価は、必ずや上がる事でしょう。

第1ゾーン RPIC 鈴木秀憲

### お知らせ

地区ポリオプラス委員長 中川 正明 (東松山)

10月24日は第5回世界ポリオデーです。1985年にRIが始めたPolio Plus運動がWHO・Unicef・CDC更にビルゲイツ財団を巻き込み世界的に発展し、この悲惨な疾患を世界から駆逐しようとその決意を表明する日です。世界中のタワー・広告塔に青色の照明が輝きます。その運動の始まりがRIです。



# RLIの

Rotary Leadership Institute

# 必要性



RLI 日本支部地区代表委員  
加藤玄静 (本庄)

ロータリーは「面白くて 為にならなければならない」と思います。毎年国際ロータリーを始め、地区、クラブに於いても「会員増強」を目標に掲げ、多くの新しい仲間を増やしております。しかしながら4～5年経ちますと、例会を欠席するようになり、奉仕活動にも参加しなくなる新会員が目立ちます。

結果、ロータリーの目的や意義が分からないまま、退会にと向かって行くのが現況であります。

私たちが入会した頃は、情報集会、家庭集会、炉辺会合等が多く開催され、楽しみながらロータリーを身に着けていたように思います。パスト会長やロータリーの知識に明るい会員が「ロータリー情報委員会」を構成し指導され、参加する事が楽しみでありました。

RLIは1992年アメリカ・ニュージャージー州第7510地区において、元RI理事デビット・リンネット氏の発案で始められました。日本では2008年に元RI理事南園義一氏が日本支部委員長に就任され、現在に至っております。

当地区では、パストガバナー野中弘之氏、本庄南RC浅田 進氏と共に私がガバナーエレクト当時に検討を始め、隣接の第2770地区の御支援により採用いたしました。

当時は中々諸先輩の理解が頂けず、大変苦勞を致しましたが、歴代ガバナーや地区委員長の努力により漸く定着された感が有ります。パート1、パート2、パート3、卒後コース、DL研修と会を重ねるようになりました。内容的には新会員には難しいテーマも有りますが、色々な切り口が有りきつとロータリーに興味を持って頂くには最良の研修方法と信じております。

今年の細井保雄ガバナーもRLI委員長の経験者であり、地区は勿論の事クラブにも推奨をされております。他地区合同プログラムであり、現在では17の地区で日本支部を構成しており、第2770地区の元RI理事北 清治氏が日本支部委員長を務めております。

今回「月信」の原稿を依頼されましたが、現在RLIにおける第一人者であります、RLI日本支部ファシリテーター委員長中村靖治氏(第2770地区PG、国際ロータリー研修リーダー)に特別寄稿をお願い致しました。快くお引き受け頂きましたので感謝申し上げます。

## ■ ロータリーを語ろう

RLI – Rotary Leadership Institute

国際ロータリー第 2570 地区の皆様には、常日頃から、RLI を通じてロータリー活動に深くご理解を頂いていることに心から感謝申し上げます。

1992 年に始まり、現在、全世界に広まりつつある Rotary Leadership Institute (RLI) ・ロータリー・リーダーシップ研究会の活動は、まさに草の根の活動であり、RLI はロータリアンの知識を啓発し、1 人 1 人のロータリアンのモチベーションを高め、リーダーシップを涵養するための全世界の地区の連合体組織です。日本におきましても、現在、17 の地区が活動されており、これから実施したいと手を挙げている地区を合わせると 20 を超える数になっております。

RLI は、ロータリーの組織や活動に関して、正しく、深い知識を持ち、高い指導能力のあるロータリアンを支援するために活動しています。

「ロータリー・リーダーシップ研究会 (RLI) は、質の高いリーダーシップの研修を通じてクラブの活性化を願った、草の根運動であります。

私たちがロータリアンとして成長し、充実した活動するためには、ロータリアン一人ひとりがロータリーを本当に理解し、自発的なモチベーションを高め、コミュニケーションや活動を活発にして、クラブの活性化につなげて行く必要があります。すなわち、RLI の目的は、ロータリアンの自主性と卓越した指導性を涵養し、クラブの刷新性と柔軟性を育て、ロータリーを活性化することです。

このような RLI 活動は、私達日本のロータリアンにとっても非常に重要なことと考えます。私達は、本来のロータリーの活動を活発に行いながら、RLI の研修も加味して、更にクラブやロータリアンの理解や指導力を高めて、日本のロータリー活動の発展を期待したいと思います。



RLI 日本支部ファシリテーター  
委員会委員長

中村 靖治 (吉川)

### 「ロータリーを語ろう」

最近ではクラブ内に於いて、ロータリー談義が不足するという声が聞こえてきます。「超我の奉仕」の合言葉のもとに我々ロータリアンは世の為、人の為の合言葉のもとに、自らの身の丈にあった奉仕の心で尽力して参りましょう!



「永遠の友情と限りない奉仕の心のもとに!!」

## 職業奉仕部門セミナー報告

職業奉仕部門委員長 武田 哲 (深谷東)

8月19日(土)、午後1時半より5時まで紫雲閣に於いて「職業奉仕部門セミナー」を開催しました。各クラブの会長、会長エレクト、職業奉仕委員を対象とし、地区のバスターガバナー、研修委員、RLI委員の方々にもご臨席頂きました。約100名の参加者となりました。

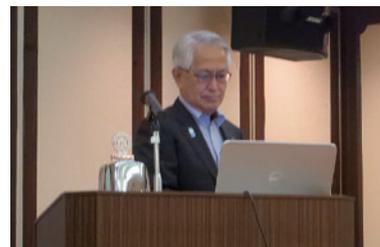
基調講演は「職業奉仕はロータリーの根幹か?—日本のロータリー100周年に向けて考えたいこと」と、日本のロータリー100周年委員会 ビジョン策定特別委員会 委員長 本田博己様(前橋RC)にお願いしました。本田様の「ロータリーの友」本年1月号の刺激的な寄稿をテーマに、約1時間半に渡り明瞭な論理で講演頂きました。

RIの潮流は「職業奉仕」でロータリーを語るのではなく「奉仕の理念」で語り実践することである。「職業奉仕」は自己の職業スキルを生かした会員個人・クラブの「奉仕プロジェクトの実践」と捉えている。ロータリーの根幹は「奉仕の理念」である。ロータリー発足時の「相互扶助」が深化・発展し「他者のために尽くすことが即、自らの幸せ(喜び)になる」という究極の利他主義にまで成長したのが「奉仕の理念」であり、その言葉で「ロータリーの理念」についての議論を深めてゆこう。と、1931年のRIの「目標設定計画」に書かれた「奉仕の理念」等の資料から論理的に分かり易く説明されました。

そして、日本のロータリーが2020年に100周年を迎えるに当たり、世界的ネットワークの重要な一員として、理念と活動の両面で21世紀のロータリー運動にリーダーシップを発揮するには、職業倫理的な旧来の「職業奉仕」論からの転換が必要であると提言されました。

後半の研修の「ロータリー理念の変遷」は、たまたま本田様の講演内容の歴史的事実を、時系列的に整理するようなものになりました。「シェルドン語録」の研修は、ロータリーに「奉仕」「サービス」の考えを導入したと思われるシェルドンのロータリーでの発言から「サービス」の意味を学び、決議23-34の、ロータリー哲学は「利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情とのあいだに常に存在する矛盾を和らげようとするものである」との、「利己」の存在を認める「職業奉仕」論に未練を繋ぐものでした。最後に、RIの潮流に沿った職業奉仕プロジェクトである「フレッシュ高校生社会体験活動プログラム」について、埼玉県教育局 県立学校部 生徒指導課 副課長 小西康雄様より意義ある事業の報告をして頂きました。

細井ガバナー、加藤RLI日本支部地区代表委員、高柳担当諮問委員からも、それぞれ熱意ある挨拶、講師紹介、講評を頂きました。久し振りの外部講師をお迎えしてのセミナーでしたが、素晴らしい内容の基調講演で、「職業奉仕」をどう捉えるかの論点が良く見えて、各クラブのロータリー活動の一助になったものと自負しております。本田様のご講演のポイントを頂いておりますので、ぜひご活用をお願い致します。



国際ロータリー第2570地区 2017~18年度

## 国際奉仕部門セミナー報告

国際奉仕部門委員長 梅澤 茂 (深谷ノース)

9月2日(土)、細井保雄ガバナー、立原雅夫バスターガバナー・国際奉仕部門諮問委員をお迎えし、各クラブ会長と国際奉仕委員長約80名のご参集の下、紫雲閣(東松山市)にて「国際奉仕部門セミナー」(司会・新島修一国際支援委員会副委員長)を開催いたしました。

中川潤国際交流委員会副委員長による地区役員紹介、細井ガバナー・立原PDGからのご挨拶を頂いて後、梅澤茂部門委員長による地区の国際奉仕活動報告、田島博夫国際支援委員長・林康雄国際交流委員長による担当各委員会の事業説明がなされました。

休憩を挟んでの後は、グループディスカッション。「国際奉仕活動を理解する。国際奉仕に関するアイデアを探求する」という視点から、フィリピン・タイ・ミャンマーの支援や日豪青年相互訪問団など私たちの地区が関わってきた事業を視野に入れ、RLI方式による活発な意見交換が交わされました。結びとして立原PDGより本セミナーの総評を頂き、閉会としました。



# ロータリー財団部門セミナー 報告

奨学学友・平和フェロー委員 陣野 壮太郎 (新座)

9月9日土曜日午後、嵐山町の国立女性教育会館で2570地区2017～2018年度第1回ロータリー財団部門セミナーが各会長・担当委員・地区役員参加のもと開催されました。このセミナーの目的は、ロータリアンが財団プログラムについて学び、財団に積極的に参加し、財団を支援する意欲を高めることです。

まずゲストスピーカー坂本俊雄様(第2ゾーンポリオ撲滅コーディネーター、第2750地区パストガバナー)による講演でポリオ撲滅へのロータリークラブの大きな貢献と撲滅直前で阻まれているパキスタンでの厳しい現状をお話いただきました。2007年にはパキスタンのポリオは年間32人まで減っていましたが、その後、国内の政治状況、国際情勢の影響を受けポリオ患者が増加しました。2014年～15年の20ヶ月でポリオワーカーが80名も殺害されており、ポリオワクチン接種施設の近くで自爆テロが発生することや、ポリオワクチン接種関係者を警備していた警察官らが攻撃を受け15人が命を落とすなどポリオ接種普及の大きな障害が発生しています。しかし、ロータリーは諦めずポリオを撲滅が他の伝染病撲滅の魁になる目標に邁進しています。パキスタンでは2016年～19年さらに5億9300万ドルが必要とされています。まだまだ寄付が必要です。坂本俊雄様の後はポール・ハリス・ソサエティ(PHS)基金について高柳育行コーディネーターよりご説明、その後茂木聡財団部門委員長はじめ各委員長より委員会の活動状況についてお話いただきました。最後に奨学候補生の三戸君、小谷野君から自己紹介と目標発表があり若さと将来の明るさを感じる形で締めくくられました。



## 9/2 (土) 坂戸市文化施設オルモ於 第1回オリエンテーション



# 青少年交換委員会 第1回 オリエンテーション (開講式) 青少年交換委員長 吉田 真人 (深谷)



写真手前からノエル：アメリカ/イルハム：インドネシア/マシュー：ブラジル/マリアナ：メキシコ



8月27日(日)紫雲閣に於いて、第48期生の開講式を行いました。

今年度の留学生は、マリアナ(メキシコ)小川RC・イルハン(インドネシア)富士見RC・マシュー(ブラジル)本庄RC・ノエル(アメリカ)行田さくらRC の4名です。

派遣候補生は藤井直視(西武学園文理高校)・工藤由寿(大妻嵐山中学校)・今田光咲(国際学院高校)・権田彩姫(大妻嵐山中学校)の4名です。

国歌・ロータリーソング斉唱で始まり、細井保雄ガバナー、宮原青少年奉仕委員長より、それぞれ一年間国際奉仕・国際理解を深め、将来国際理解・平和に貢献出来るように、また派遣候補生には、これから一年間の勉強で留学できるだけ知識を深めるようにというような話がありました。開講式記念講演は、青少年諮問委員であります加藤玄静パストガバナーにお願いしました。ロータリーの話から始まり青少年交換そして、交換以外にもロータリー財団、日本独自の米山奨学生の話をしていただきました。

開講式の終わった後に、派遣候補生、留学生、ガバナー・ガバナー補佐、クラブ責任者、カウンセラー、ホストファミリーにわかれ、それぞれ注意事項など意見交換をいたし、青少年交換事業についての理解を深めました。

今回は、細井ガバナーはじめガバナー補佐の方、次年度の地区幹事、ホストクラブの関係者、ローテックス多数の方の出席があり、次年度の交換も円滑に進むような気がいたしました。

交換委員会にご協力宜しくお願い致します。

# 社会奉仕部門セミナー報告

奉仕部門委員長 齋藤 栄作 (入間)



2017年9月9日(土) 行田市教育文化センター「みらい」の文化ホールにて社会奉仕部門セミナー及びシンポジウムを開催させていただきました。

部門セミナーでは社会奉仕部門の4委員会、1、地域社会奉仕委員会 西澤長次委員長 2、アイバンク委員会 田村宏委員長、3、ブライダル委員会 小澤政治委員長、4、世界遺産登録・無形文化遺産登録推進委員会 田中利幸委員長より地区内51クラブに向けて本年度の活動内容、お願いをさせていただきました。

続けて2部として同会場にて主催国際ロータリー2570地区社会奉仕部門委員会、協賛 行田ロータリークラブ、行田さくらロータリークラブ、後援、行田市、行田商工会

議所、行田市教育委員会、世界遺産サポーターの会とし、パネラー：丸山晃様(元埼玉新聞社社長)、中島洋一様(行田市文化財保護課課長) 鈴木秀憲様(国際ロータリー2570地区パストガバナー・社会奉仕部門委員会諮問委員)：コーディネーター齋藤栄作社会奉仕部門委員長によるパネルディスカッション形式のシンポジウムが開催されました。

シンポジウム開催テーマは 地域資源を活かした「まちづくり」「日本遺産から世界遺産へ」とし地区内51のロータリークラブが各地域の「まちづくり」についてオピニオンリーダーとして動き出せるきっかけを提示する目的で開催しました。開催地は文化庁より埼玉県で初めて今年4月に日本遺産の認定を受けた行田市を選びました。

日本遺産とは(Japan Heritage)地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として文化庁が認定する制度です。ストーリーを語る上で欠かせない魅力溢れる有形や無形の様々な文化財群を地域が主体となり総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信してゆく事により、地域の活性化を図ることを目的としています。

当日は、主催者より細井保雄ガバナー、後援者より工藤正司行田市長、小川雅以行田商工会議所会頭のご挨拶をいただき約200名の行田市民を始め内外からの一般市民の方々と交えロータリーの公共イメージと認知度の向上を意識したシンポジウムとなりました。当日は埼玉新聞社、J.com、行田ケーブルテレビ、行田市市報、の取材が入りました。

## 文化遺産を活かした「まちづくり」シンポジウム

世界遺産・無形文化遺産登録推進委員長  
田中 利幸 (行田さくら)



### 地域資源を活かしたまちづくり 「日本遺産から世界遺産へ」

去る9月9日(土)午後3時より行田市にある教育文化センター「みらい」ホールにて「まちづくり」シンポジウムが挙行されました。この日は、部門セミナーに引き続き、一般市民や地域のロータリアン、世界遺産サポーターの会会員を交えて開かれました。コーディネーターには齋藤部門委員長、パネラーに埼玉新聞元会長の丸山氏、行田市文化財保護課の中島氏、鈴木パストガバナー三氏の構成で「日本遺産とは」「今年4月埼玉県で初めて日本遺産登録を果たした行田市の現状」「さきたま古墳群のこれから」「文化遺産を活かした社会奉仕事業」等が大変興味深く語られ「世界遺産推進運動が日本遺産獲得に大いに貢献したこと等」明らかにされると、多くの参加者から愉快的な笑顔があふれ、参加者全員が「まちづくり」の学びを深めました。当日はj:com 川越、TV 行田、埼玉新聞、市報行田等たくさんの取材も入りました。丸ごとのTV番組にもなるそうで「ロータリーの公共イメージアップ」にも貢献しました。



## 本庄南 RC

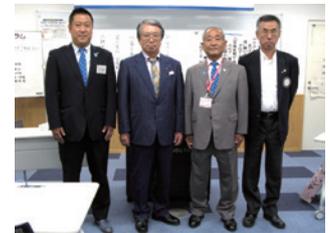
会長・河原 淳 幹事・長沼 章

8月21日(月)、本庄はにぼんプラザにて細井ガバナー・向井ガバナー補佐をお迎えし、公式訪問が行われました。例会に先立って、会長、幹事、新会員2名を交えての懇談会が和やかな雰囲気の中で行われました。

例会では、『ロータリーを一生懸命やれば幸せになれる』との細井ガバナーによる卓話を頂き、会員にとって良い刺激になる貴重な時間となりました。

また、年齢のバランスの良いクラブだとお褒めの言葉も頂き、ありがとうございました。

今年度の本庄南 RC の事業活動は平成 30 年 4 月日に開催される早稲田の杜クロスカントリーに参加し、ポリオ撲滅・希望の風奨学金の募金活動を行います。また、ランナーとして協力して頂ける方にポリオ撲滅などの T シャツを着用して頂き、ロータリーの活動を一般の方々にアピールしていきたいと思っております。



## 岡部 RC

会長・内田 勝一 幹事・市川 浩

8月23日、会員全員が少し緊張した中で、細井ガバナーをお迎えしました。

細井ガバナー作詞作曲の「ロータリーを他人に告げる歌」を全員で合唱し会場の心がひとつになったところでガバナーによる卓話が始まりました。

これからのロータリーに必要な事、ロータリアンとしての心構え、クラブの未来、そして、経営方法と人間関係学を私たち1人1人に呼びかけ、とても伝わりやすく熱心にお話をしてくださいました。

休憩後のクラブ協議会では、RLI方式により会員増強について皆で話し、意見を出し合いました。

全員の発表後に細井ガバナーより評価とアドバイスをいただき、今後のクラブ活動に役立てていきたいと思っております。

貴重な時間、心に響く卓話をありがとうございました。

### 【クラブの今年度事業の紹介】

○会員増強に力を入れる。

5年、10年戦略計画を立て明確にする

○クラブサポートの強化、退会防止

○例年通り、地域に密着した奉仕活動続ける

○公共イメージ、認知度の向上

# ガバナー公式訪問

## 坂戸 RC

会長・柳澤 亨 幹事・三村 隆司

8月24日(木曜日)細井保雄ガバナー、相原茂吉ガバナー補佐、行田さくらクラブの地区副幹事2名と会報委員長をお迎えして公式訪問例会を開催しました。

例会前にガバナー、ガバナー補佐、会長、幹事と入会3年未満の会員3名で懇談会を行い、昼食後の例会でガバナーより卓話を頂きました。ロータリーの「奉仕」は「Serve」で「人のためになる行為」とのお話があり、ニュアンスが異なるのかなと感じました。

クラブ協議会は戸口 DL が A グループを担当しクラブのサポートと強化をテーマとし、弓田勝俊地区 RLI 委員が DL となり B グループを担当し公共イメージと認知度の向上をテーマに、RLI 方式で活発な意見交換が行われました。



### 【クラブの今年度の事業】

城西大学ローターアクトクラブの自主運営サポート強化(継続事業として)

1. スポーツ少年団の子供達の表彰
2. 城西大学留学生の工場見学とスピーチコンテストの後援
3. 年2回の献血運動



## 朝霞キャロット RC

会長・醍醐 清 幹事・大澤 衛

8月28日(月)17:30 定例会場シティ・イン北朝霞に、細井保雄ガバナー、第2グループ下山定夫ガバナー補佐、矢澤大和、阿部秀二郎両地区副幹事をお迎えして、地下・魚とやにて懇談会を開催。クラブの現況報告をいたしました。18:30 より3階ホールへご案内「ロータリーを他人に告げる歌」のウエルカムソングでお迎え、ガバナー公式訪問例会を実施。ガバナーの卓話では、推挙されたいきさつを伺い、ご自身で作詞作曲された歌について、四つのテストの歌と同様にメロディーに乗せて歌えばロータリーの活動を自然と伝えられることができるのではないかと考案されたと話されました。クラブ紹介においては、当クラブが国土交通省を受賞した「黒目川花広場」の活動状況について、勝瀬義仁会員がPPTにて説明、市民を巻き込んでの活動は、大変素晴らしいとご好評をいただきました。



## 吹上 RC

会長・鳥羽 千太郎 幹事・上岡 常浩

8月29日(火) 国際ロータリー第2570地区の細井保雄ガバナー、高野ガバナー補佐、そして行田さくら RC の橋本様、倉持様、五十幡様、3名の随員の皆様をお迎えして公式訪問例会が行われました。今年度は通常の例会場ではなく生涯学習センターで行われ、設営に不手際が多々ありましたが、和やかな雰囲気の中で懇談会、クラブ例会、そして協議会が行われ、有意義で貴重なお話を頂きました。協議会では細井ガバナーに DL をお願いして RLI 方式の活発な議論がありました。



## 飯能・日高 RC 合同

飯能 会長・和泉 由起夫 幹事・土屋 良一  
日高 会長・山本 英勝 幹事・清水 佳代子

8月30日(水) 飯能・日高合同のガバナー公式訪問例会が開催されました。例会に先立ち、細井保雄ガバナーと木川一男ガバナー補佐とクラブ役員との懇談会、入会3年未満の会員との懇談会が行われ、和やかな雰囲気の中で、ガバナーからお話がありました。例会では、ガバナーの卓話をいただきました。ガバナーによれば、思いやりをもってする人のためになる行為がサービスであり、そのサービスを根幹とする五大奉仕と世界平和がロータリー



の本質であることなどのご説明をいただきました。ガバナーが経営される会社の売上げが15年間で8倍も増大したご経験をもとに、ロータリアンとして事業を行うと、事業が発展し、幸せになれることなどのお話をされ、会員一同大変感銘を受けました。クラブ協議会では、両クラブの会長と五大奉仕委員長が計画発表を行い、最後にガバナーから全ての発表者へのご講評をいただき、大変有意義な公式訪問例会となりました。

# ガバナー公式訪問

## 皆野・長瀬 RC

会長・高田 富康 幹事・小林 一夫

8月31日木曜日、当クラブ例会会場である養浩亭において、細井保雄ガバナー、向井正義ガバナー補佐、地区副幹事田邊弘司様、時田忠彦様をお迎えし、ガバナー公式訪問例会を開催致しました。午前11時30分よりガバナー、ガバナー補佐、地区副幹事と会長、幹事との懇談会を開き、昼食後クラブ例会におけるガバナー卓話、ロータリーがなぜ112年も続いてこれたのは、奉仕活動において世のため人のために良い事を行った結果であると話されました。



ロータリアンとして感動を受けました。

クラブ協議会では、「会員の勧誘と維持を改善する。」このテーマでRLI方式で行い、会員全員活発な意見を求められ、ガバナーの思いやりのある評価を頂き、楽しい例会が出来ました。



### 【クラブの今年度事業の紹介】

- 会員増強に力を入れる。5年、10年戦略計画を立て 明確にする
- クラブサポートの強化、退会防止
- 例年通り、地域に密着した奉仕活動を続ける
- 公共イメージ、認知度の向上



## 越生毛呂 RC

会長・高橋 一尋 幹事・小川 唯一

9月5日(火) 細井保雄ガバナー、相原ガバナー補佐をお迎えし、ガバナー公式訪問が開催されました。ガバナー懇談会には細井ガバナー、相原ガバナー補佐、地区副幹事の矢澤様、田島様、当クラブからは会長、会長エレクトが出席しました。

例会では、細井ガバナーの卓話をいただき、地区の取り組みや会員増強等について又ご自身の会社の経営学についての興味深いお話をお伺いいたしました。

クラブ協議会では、RLI方式にて弓田 DL のリードにより3つのテーマについて熱くディスカッションを行いました。特に、公共イメージでは、如何にロータリーの魅力をどう伝えていくか、一人一人が考えさせられた時間として、これからの越生毛呂ロータリークラブにとってとても有意義な時間でした。

最後に、ガバナーより総評を頂き充実した公式訪問でした。



## 東松山・小川・東松山むさし RC 合同

東松山 会長・中島 丞司 幹事・飯島 徹  
 小川 会長・中村 悟 幹事・村田 幹昌  
 東松山むさし 会長・柳下武司 幹事・川野今朝治

9月7日(木) 細井ガバナー、相原茂吉ガバナー補佐をお迎えし、3クラブ合同の公式訪問例会を行いました。入会3年未満の会員との懇談会では予定時間を超えて熱心に耳を傾け、有意義な時間を過ごしました。例会時のガバナー卓話では「私にとってのロータリー」というテーマで、ロータリーの現状について大変貴重なお話を頂きました。クラブ協議会ではRLI方式にて異なる3つのテーマに関して討議を行いました。いずれのグループでも活気溢れる場となりました。終了後は懇親会を行い、緊張感も解け、終始和やかな雰囲気の中、3クラブの親睦並びにガバナーとの懇談を楽しみました。以上の通り、3部構成で公式訪問例会を行いました。非常に充実した会となりました。



## 富士見 RC

会長・羽石 隆 幹事・横田 昌則

9月8日いつもの例会場に1時間前につきましたところ、当クラブ入会3年目の新人会員今年度SAA委員の増田会員が本日の例会場の設営準備をしているではありませんか、こんな大事な日に早くから例会場に来て例会場の設営準備をしてくれている会員が居ることに、わたしはこのクラブの素晴らしさに心が高揚いたし会長としての自覚と責任を痛感いたしました。細井ガバナーと5年未満の会員との意見交換に入り 中でもサービスそして奉仕に付いて述べられその他いくつかご指導されました。その後例会場にて細井ガバナーを迎えての4つのテーブルに別れ RLI方式のディスカッションを行いました。

細井ガバナー公式訪問ありがとうございました。今後とも当クラブに御指導 御鞭撻 宜しく願いいたします。



## 表彰 財団表彰



### Arch C Klumph Society



アーチ C. クランフ. ソサエティ  
**細井 保雄**  
(行田さくら)

アーチ C. クランフ. ソサエティはロータリー財団に累計 25 万米ドル以上の寄付者がメンバーとなります。写真が RI 世界本部のアーチ・クランフギャラリーに飾られます。また日本で 30 人目の AKS メンバーとなりました。

細井ガバナーは「細井保雄・文江ロータリー平和センター基金」を設立しました。



マルチプル・ポール・ハリス・フェロー  
**吉永 章子**  
(入間)



マルチプル・ポール・ハリス・フェロー  
**後藤 賢治**  
(入間)



マルチプル・ポール・ハリス・フェロー  
**粕谷 康彦**  
(入間)

## 財団表彰



ポール・ハリス・フェロー  
**豊田 義継**  
(入間)



マルチプル・ポール・ハリス・フェロー  
**星野 博之**  
(志木)



マルチプル・ポール・ハリス・フェロー  
**小泉 市郎**  
(志木)

## 財団表彰



マルチプル・ポール・ハリス・フェロー  
**三上 隆俊**  
(志木)



マルチプル・ポール・ハリス・フェロー  
**坂間 智子**  
(志木柳瀬川)



米山功労者 (12 回目)  
**長岡 倉雄**  
(皆野・長瀬)

## 米山表彰

## 訃報



### 笛木 弘治(川越)

2017 年 8 月 30 日、ご逝去されました。謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

享年 69 歳

ロータリー歴：

平成 14 年 10 月 22 日入会(在籍 15 年)

- ・2014-15 年度 川越 RC 会長
- ・2017-18 年度 地区ロータリー財団部門資金推進委員長
- ・マルチプルポールハリスフェロー
- ・マルチプル米山功労者

## 新入会員



### 堀木 純一 (川越)

東日本電信電話(株)  
支店長

紹介者：可児 一男  
／西澤 堅

[ 2017.7.19 入会 ]



## 寺園 智樹

(入間南)

(株)テラダイ

代表取締役社長

紹介者：吉田譲二

[ 2017.6.27 入会 ]



## 新井 祐司

(川越小江戸)

(有)あらや石油

代表取締役

紹介者：金子 貞男

[ 2017.7.7 入会 ]



## 木村 孝子

(所沢西)

(株)木村

専務取締役

紹介者：鈴木 真澄

[ 2017.9.5 入会 ]



## 小越 博

(所沢中央)

総合警備保障(株)

埼玉西支社

支社長

紹介者：日高 幸二

[ 2017.7.24 入会 ]

## 8月度 出席率および会員数・マイロータリー登録者数報告

クラブ名	例会数	出席率 (%)		会員数 (人)								マイロータリー登録者数 (人/率)					
		8月	通算	年初	7月末	8月入会数	8月退会者	本年度入会者	本年度退会者	8月度純増数	本年度純増数	女性会員	8月末登録者	8月末未登録	8月末登録率		
第1グループ																	
川越	4	74.37	78.79	91	92	0	0	1	0	0	1	0	19	73	20.7		
東松山	3	80.93	75.57	26	26	0	0	0	0	0	0	1	5	21	19.2		
小川	4	83.33	89.58	7	7	0	0	0	0	0	0	1	1	6	14.3		
坂戸	4	73.27	82.33	30	30	0	0	0	0	0	0	1	7	23	23.3		
越生毛呂	4	66.70	70.05	16	16	0	0	0	0	0	0	2	3	13	18.8		
川越小江戸	2	93.75	89.37	15	16	0	0	1	0	0	1	1	3	13	18.8		
川越西	3	64.45	70.20	17	17	0	0	0	0	0	0	0	8	9	47.1		
鶴ヶ島	3	88.00	89.00	30	31	0	0	1	0	0	1	3	31	0	100.0		
川越中央	3	79.92	78.41	30	29	0	0	0	1	0	-1	0	5	24	17.2		
坂戸さつき	2	64.00	66.35	25	25	0	0	0	0	0	0	4	10	15	40.0		
東松山むさし	2	82.05	82.69	42	42	0	0	0	0	0	0	6	8	34	19.0		
合計 (11RC)	40	77.34	79.30	329	331	0	0	3	1	0	2	19	100	231	30.2		
第2グループ																	
朝霞	3	97.43	96.89	30	30	0	0	0	0	0	0	0	9	21	30.0		
志木	4	94.48	92.27	47	47	0	0	0	0	0	0	0	11	36	23.4		
富士見	3	85.27	82.60	45	45	0	0	0	0	0	0	0	22	23	48.9		
新座	4	78.76	80.10	28	28	0	0	0	0	0	0	2	3	25	10.7		
和光	3	88.89	90.28	5	6	0	0	1	0	0	1	3	3	3	50.0		
朝霞キャロット	3	87.18	92.63	13	13	0	0	0	0	0	0	0	2	11	15.4		
志木柳瀬川	2	80.00	82.50	10	10	0	0	0	0	0	0	4	0	10	0.0		
新座こぶし	3	79.50	80.78	13	13	0	0	0	0	0	0	1	2	11	15.4		
合計 (8RC)	25	85.94	87.26	191	192	0	0	1	0	0	1	10	52	140	27.1		
第3グループ																	
入間	4	74.00	78.58	43	43	0	0	0	0	0	0	0	9	34	20.9		
所沢	3	74.96	77.24	57	59	0	0	2	0	0	2	4	8	51	13.6		
飯能	4	94.74	93.22	57	57	0	0	0	0	0	0	0	3	54	5.3		
新所沢	3	93.87	93.38	20	21	0	0	1	0	0	1	1	4	17	19.0		
日高	4	78.12	78.12	18	18	0	0	0	0	0	0	2	8	10	44.4		
所沢西	4	92.40	93.35	28	29	0	0	1	0	0	1	2	2	27	6.9		
新狭山	3	84.31	84.30	16	17	0	0	1	0	0	1	0	3	13	18.8		
所沢東	4	82.69	82.25	41	41	0	0	0	0	0	0	2	4	37	9.8		
入間南	3	67.67	69.59	42	42	0	0	0	0	0	0	0	9	33	21.4		
所沢中央	3	93.70	95.05	22	22	0	0	1	1	0	0	2	2	20	9.1		
狭山中央	4	96.04	94.27	32	32	0	0	0	0	0	0	7	5	27	15.6		
合計 (11RC)	39	84.77	85.44	376	381	0	0	6	1	0	5	22	57	323	15.0		
第4グループ																	
深谷	4	69.89	70.48	56	55	0	0	0	1	0	-1	11	5	50	9.1		
本庄	4	66.85	74.38	73	73	0	0	0	0	0	0	4	9	63	12.5		
秩父	4	74.00	76.10	52	54	0	0	2	0	0	2	1	11	43	20.4		
寄居	2	94.00	93.50	25	25	0	0	0	0	0	0	0	1	24	4.0		
児玉	2	100.0	91.68	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0.0		
岡部	3	92.85	87.44	16	16	0	0	0	0	0	0	2	3	13	18.8		
深谷東	3	67.20	67.90	68	67	0	1	0	1	-1	-1	0	4	63	6.0		
川本	2	82.00	79.00	11	11	0	0	0	0	0	0	0	3	9	25.0		
皆野・長瀬	3	75.00	77.80	12	12	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0.0		
本庄南	3	78.96	83.85	14	14	0	0	0	0	0	0	0	14	0	100.0		
深谷ノース	3	94.12	89.34	34	34	0	0	0	0	0	0	1	6	28	17.6		
合計 (11RC)	33	81.35	81.04	364	364	0	1	2	2	-1	0	19	56	308	15.4		
第5グループ																	
熊谷	3	79.37	75.00	90	90	0	0	0	0	0	0	4	6	84	6.7		
行田	3	69.00	66.00	65	65	0	0	0	0	0	0	5	5	60	7.7		
羽生	4	58.70	62.23	46	46	0	0	0	0	0	0	4	2	44	4.3		
加須	3	89.33	85.33	31	31	0	0	0	0	0	0	0	1	30	3.2		
熊谷西	3	66.00	71.00	11	11	0	0	0	0	0	0	0	1	10	9.1		
行田さくら	4	69.10	72.35	50	51	2	1	2	1	1	1	2	26	24	52.0		
熊谷東	4	74.13	73.28	29	29	0	0	0	0	0	0	2	5	24	17.2		
吹上	4	75.00	81.45	11	11	0	0	0	0	0	0	0	7	4	63.6		
熊谷籠原	4	88.38	86.60	25	28	3	0	3	0	3	0	0	5	23	17.9		
熊谷南	3	58.33	55.42	20	20	0	0	0	0	0	0	1	5	15	25.0		
合計 (10RC)	35	72.73	72.86	378	382	2	1	5	1	1	4	18	63	318	16.5		

## 総グループの合計 (51RC)

出席率 (%)		上段・51クラブ男性会員数 (人) / 下段・女性会員数								マイロータリー登録者数 (人/率)		
8月	通算	年初	8月末	8月入会数	8月退会者	本年度入会者	本年度退会者	8月度純増数	本年度純増数	8月末登録者数	8月末未登録者数	8月末登録率
80.25	80.99	1551	1562	2	2	16	5	0	11	328	1320	19.9
会員数・男女合計		1638	1650	2	2	17	5	0	12	328	1320	19.9

# Schedule ガバナー公式訪問 10月

2 月	和光 RC	10 火	狭山中央 RC	25 水	熊谷東・熊谷麓原・熊谷南RC合同
3 火	羽生 RC	12 木	志木柳瀬川 RC	31 火	行田さくら RC
4 水	坂戸さつき RC	17 火	川本 RC		

## ■ 10月・11月のスケジュール

10月

8 日	青少年奉仕部門 第3回オリエンテーション	国立女性教育会館
21 土	ロータリー財団部門 第2回オリエンテーション	オルモ
21 土	ふれあい・ブライダルパーティ	キングアンバサダーホテル
24 火	世界ポリオデー	

11月

3 金・祝	青少年奉仕部門 東松山スリーデーマーチ (BBQ) 第4回	紫雲閣
3 金・祝	ロータリー財団部門 日本スリーデーマーチ	東松山市
12 日	青少年奉仕部門 第5回オリエンテーション	国立女性教育会館
19 日	クラブ奉仕部門 第2回部門セミナー (増強・公共イメージ)	紫雲閣
20 月	ロータリー財団部門 ロータリー財団地域セミナー	
25 土	RLI委員会 RLI研修パート1	国立女性教育会館

## 表紙写真 利根大堰周辺

利根大堰は昭和43年行田市と群馬県千代田町との間につくられた可動堰で、武蔵水路など5本の用水路などを通して、利根川水系8ダムから放流している水を上水道、灌漑などに利用しています。東京都の40%、埼玉県80%の地域の上水道を賄っています。利根川はサケ自然遡上の南限河川と言われていますが、1970年を境に減少、放流事業、魚道の大改築により回復、変動はありますが年数千から一万匹以上に増加し、10月下旬から12月中旬に「大堰自然の観察室」で見られ、大堰下流では産卵の様子が遠望できます。中条提は伊奈忠次によって本格的に整備されたと言われる江戸を水害から守る要でした。平成21年2月、皇太子殿下が視察に訪れました。利根大堰は耐震補強工事を実施しており、周辺の堤は強化工事中です。イメージ図のよう、工事により周辺環境を自然豊かな場所にすべく検討、工事中です。

表紙写真 提供：国交省 利根川上流事務所、(独)水資源機構利根導水総合事業所、行田市 (副幹事 橋本恭一記)

Rotary International District 2570

## GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信 10月号 vol.4

2017年10月1日発行

月信問い合わせ先：行田さくらロータリークラブ

E-mail s-rotary@tv.g.ne.jp

TEL 048-564-3000



| 国際ロータリー 第2570地区 (埼玉西北部) |

Rotary International District 2570

〒355-0028 埼玉県東松山市箭弓町 2-5-14 紫雲閣 3階

TEL 0493-21-2570 / FAX 0493-21-2571

<https://www.rid2570.gr.jp>